

熊大病院ニュース

第26号

Kumamoto University Hospital

熊本大学医学部附属病院 広報誌



特集 P1

くまもとメディカル ネットワーク

イベント紹介 P2

新任役職者紹介 P3

呼吸器内科 神経精神科

人型ロボット「Pepper」を導入 P3

知っ得! 納得! Q&A P4

「11月14日は世界糖尿病デー」 糖尿病について

診療科・部門紹介 P5

*放射線治療科 *移植医療センター

看護部だより P6

がん医科・歯科連携

総合案内 裏表紙



ご自由に
お取りください

2018年 秋号

熊本大学
医学部
附属
病院

- 【理 念】 本院は、患者本位の医療の実践、医学の発展及び医療人の育成に努め、地域の福祉と健康に貢献する。
- 【基本方針】
 - ・患者の希望、期待、要求を尊重する医療の実践
 - ・安全安心で質の高い医療サービスの提供
 - ・優れた医療人の育成
 - ・先進医療の開発と推進
- 【患者の権利】
 - ・良質な医療を受ける権利
 - ・十分な説明と情報提供を受ける権利
 - ・自分の意思で医療を選ぶ権利
 - ・プライバシーや個人情報が保護される権利
- 【患者の責務】
 - ・自分の健康状態について正確に伝える
 - ・本院の規則を遵守する
 - ・迷惑行為を行わない



病院敷地内全面禁煙のお知らせ

皆様のご理解とご協力をお願いします。

熊本大学医学部附属病院の建物内、敷地内(含む中庭、駐車場) および病院周辺の道路は全面禁煙です。喫煙を確認した場合は、来院者には退去勧告、入院患者さまには退院や転院を勧告いたします。禁煙へのご理解とご協力をお願いいたします。

看護師募集中

最先端の医療に携わってませんか?

育児休業復帰
支援プログラム
実施中です!

担当: 熊大病院 総務課 人事給与担当

☎ 096-373-5913



くまもとメディカルネットワーク

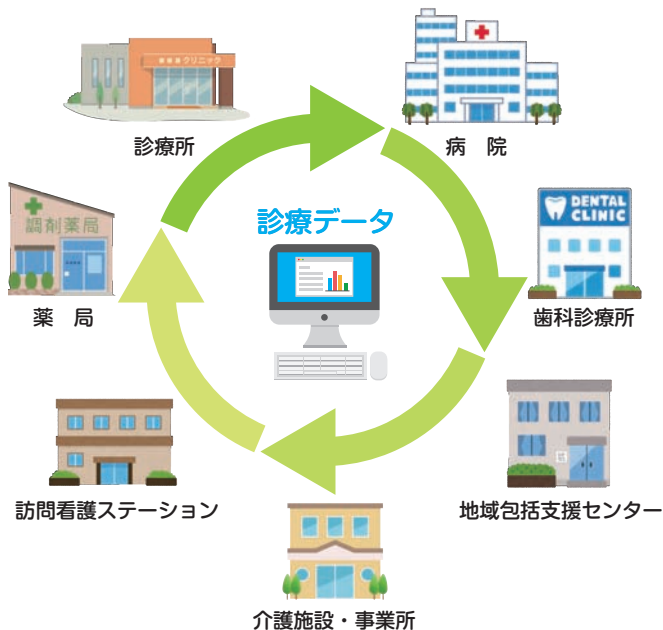
【監修】 熊本大学医学部附属病院 医療情報経営企画部 宇宿 功市郎 部長

くまもとメディカルネットワークとは？

くまもとメディカルネットワークとは、病院・診療所・歯科診療所・薬局・訪問看護ステーション・介護施設をネットワークで結び、患者さんの診療・調剤・介護に必要な情報(医療機関等の受診歴、病名歴、検査結果、処方内容、画像情報)を共有することで、より良い診療に役立てることができるしくみです(図1)。

本ネットワークの「利用施設」として登録されている施設において、患者さんが「参加同意書」を提出することで本ネットワークに参加することが可能となります。(詳細は次ページ上段参照)

図1 くまもとメディカルネットワーク



本ネットワークは熊本県、熊本県医師会、熊本大学医学部附属病院の3者が一体となり構成した「熊本県地域医療等連絡協議会」が主体となり、構築・運営しています。

現在、本院と県内基幹病院では本ネットワーク

の活用を促し、今後は患者さんの情報(医療機関等の受診歴、病名歴、検査結果、処方内容、画像情報)連携を「くまもとメディカルネットワーク」を通じて行うことを目指して活動を行っております。

現在、熊本県内で本ネットワークを利用できる施設数は313施設(平成30年10月18日現在)となり、少しずつではありますが県内での整備が進んでいる状況で、今後ますます利用可能施設を増やしていく予定です。

本ネットワークの趣旨をご理解いただき、ぜひ「くまもとメディカルネットワーク」へのご参加を検討いただければと思います。

特別なくみが用意されています

参加手続き時に、情報を共有してもよい医療介護施設を患者さんに指定して頂き、通常は、それらの施設でのみ情報を共有します。しかし、参加されている方が、意識を失い救急搬送された場合など、参加者自身が意思表示をできない状況では、くまもとメディカルネットワークに登録されている医療機関の緊急措置に従事する医療従事者などに限り情報を共有することができるしくみを用意しており、緊急時や災害時にも迅速で適切な治療を受けることができます。



くまもとメディカルネットワークに関する情報はHPにも詳しく掲載しております。* また興味のある方は、本院の総合案内へお問い合わせください。

※くまもとメディカルネットワークHP
<http://kmn.kumamoto.med.or.jp/>

参加手続き方法

1

本院をはじめ、利用施設に登録されている施設で『くまもとメディカルネットワークに参加したい』とお伝えください。



2

『くまもとメディカルネットワーク参加同意書』を記入(印鑑不要)する。



3

参加者カードをもらえば手続き完了です。

※利用施設の追加・変更時に参加者カード番号が必要になりますので、紛失等ないようにお願いします。



4

登録後、情報の共有を開始します。

くまもとメディカルネットワークを利用している利用施設で、参加者(患者さん)の診療・調剤・介護等に必要情報の共有が開始されます。



※熊本大学医学部附属病院では、総合案内で手続きを行っています。

- ・参加者(患者さん)は、**無料**でご参加いただけます。
- ・診療費、調剤費、介護費等の**自己負担分は通常**と変わりません。

総合案内お問合せ ☎096-373-5978

受付時間/月～金 8:30～17:15 (祝祭日を除く)

イベント紹介

一般財団法人 恵和会の助成により開催されている院内のイベント等をご紹介します。

ちっちゃな夏祭りを開催

◎ 2018年8月24日(金) 外来診療棟ホールにて「ちっちゃな夏祭り」が開催されました。「ちっちゃな夏祭り」は、本院に入院している子ども達とそのご家族を対象に毎年開催しています。子ども達はバルーンアートショーやポップコーン、わた菓子、ヨーヨーすくいなど夏祭りを楽しんでいました。



【写真】バルーンアートで作ったキリン





呼吸器内科 教授

坂上 拓郎

平成30年6月に呼吸器内科の教授・診療科長を拝命いたしました坂上拓郎です。

私は新潟出身で、平成9年に新潟大学を卒業し、いままでの大半を故郷で過ごしてきました。熊本はもとより九州の地での暮らしは初めてとなります。

呼吸器内科医が頼りにされる疾患として、肺癌、COPD・喘息、間質性肺炎、睡眠呼吸障害、呼吸器感染症などがあります。高齢者でよく見られる疾患も多く、昨今の高齢化の進行に伴い呼吸器

疾患を患っている方も増え続けています。

また、診断法・治療法は、少し前には誰も想像できなかった進歩を遂げております。こういった患者さんの数の増加と専門性が必要とされるなかで、地域の連携病院との協力のもとに呼吸器内科としての最善の診療を提供していくこと、またそのために人間味あふれる優秀な後進を育てることに全力で取り組んでいく所存です。どうぞよろしく願い申し上げます。



神経精神科 教授

竹林 実

平成30年7月1日に8代目の教授を拝命し赴任してきました。

私は、広島県にある国立病院機構呉医療センター・中国がんセンターなどで、幅広い精神疾患の治療と気分障害の研究を行ってきました。精神科医は、全人的な視点で治療に取り組み、患者さんとともに歩み成長できる、とても魅力ある仕事です。また、新しい診断・治療法の開発やこころの仕組みを解き明かすことができる無限の可能性を秘めた脳科学が応用できる仕事です。

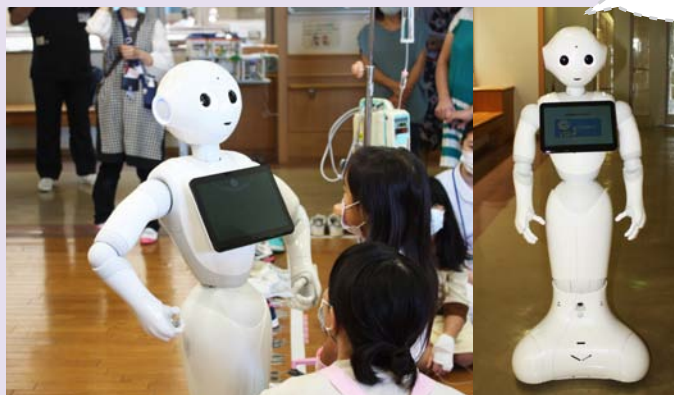
私は、呉医療センターにおいて、bed

side-to-bench・bench-to-bed sideというスタンスで、うつ病などの気分障害の病態にグリア・炎症のプロセスが関与する新しい視点から血液・髄液バイオマーカーの候補を見出し、また、抗うつ薬の新しい作用点がグリアのリゾフォスファチジン酸1受容体 (LPA1) であることを見つけました。分子脳科学分野などの基礎医学、他の臨床医学の教室と密に連携しながら、ここ熊本大学でもbed side-to-bench・bench-to-bed sideの理念で、診療に還元する挑戦をしたいと考えています。

人型ロボット「Pepper(ペッパー)」を導入

2018年8月に人型ロボット「Pepper(ペッパー)」を導入しました。導入後、初めて小児科病棟でPepperを使い、入院中の子ども達とアプリゲームをしました。子ども達はクイズやダンスをして楽しそうに遊んでいました。

今後は、毎週水曜日に小児科病棟での業務に使用するとともに、その他の診療科等でも手術の説明などの業務に活用していく予定ですので、どうぞよろしくお願い致します。



【写真】 アプリゲームで遊ぶ子ども達とPepper

※ソフトバンクロボティクスのPepperを活用し、本院が独自に実施しているものです。

お仕事してるよ!

「糖尿病について（11月14日は世界糖尿病デー）」

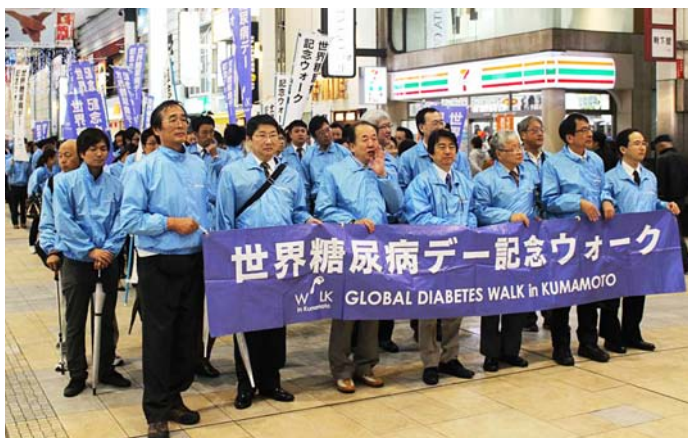
日本の糖尿病患者数は増加の一途をたどっており、糖尿病患者とその予備群はおよそ2000万人に達しています。糖尿病患者数の増加は世界的にも問題であり、2006年には国連が毎年11月14日を「世界糖尿病デー」と公式に認定しました。全世界が一致団結して糖尿病の予防と克服に向けて闘うことを呼びかけています。

Q 糖尿病の原因は？

A

血糖値（血液中のブドウ糖の濃度）が慢性的に高くなる状態が糖尿病です。ブドウ糖は体にとって必要不可欠の栄養素ですが、過剰に血液中に存在すると血管を傷めるなど、様々な合併症を引き起こします。血糖値はインスリンという膵臓から出るホルモンによって調節されています。このインスリンの分泌が障害されたり、インスリンの作用が障害されたりすると糖尿病が発症します。糖尿病を放置すると、目や腎臓、神経の障害などの糖尿病に特徴的な合併症や、心筋梗塞や脳梗塞などの動脈硬化症を引き起こします。

世界糖尿病デーに使用される「ブルーサークル」は糖尿病対策のシンボルマークです。「糖尿病との闘いのため団結せよ(Unite for Diabetes)」というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。



【写真】11月14日の世界糖尿病デーに合わせて毎年行われる「世界糖尿病デー記念ウォーク」の様子。

Q 初期症状はありますか？

A

糖尿病にはいくつかの異なったタイプがあり、もっとも多いのが2型糖尿病です。糖尿病になりやすい体質に、肥満や運動不足などの生活習慣の乱れが加わって発症する、代表的な生活習慣病です。2型糖尿病の場合、特に自覚症状に乏しいのが特徴で、健康診断などで血糖値を測定しないと初期の段階で見つけることは困難です。喉の渇きや多飲、多尿、倦怠感、体重減少などの症状は著しい高血糖の際に認められますが、このような症状が出現した時には、すでに糖尿病の病態がかなり進行していることが心配されます。

Q どんな治療方法がありますか？

A

糖尿病治療の基本は食事療法です。身長から計算される標準体重や、日頃の運動量を参考に1日の摂取カロリーを決め、栄養バランスのとれた食事を心がけます。できる限り歩くなど日頃の生活に運動習慣を取り入れることも重要です。食事や運動でも十分な効果が得られない時には、薬物療法を併用します。薬物療法には、飲み薬（7種類に大別されます）と注射薬（インスリンとGLP-1受容体作動薬）があり、患者様の病態に最も適したものを選択します。きちんと糖尿病を治療すると、合併症の発症や進行を阻止できます。

各診療科・部門についてご紹介いたします。

放射線治療科



▲大屋夏生教授

当科の特色の一つは、強度変調放射線治療(IMRT/VMAT)、定位放射線治療(SRT)、四次元放射線治療(4DRT)、画像誘導放射線治療(IGRT)などの高精度放射線治療をいち早く導入してきたことです。これらの新しい照射法は、「癌に厳しく人に優しい」という、放射線治療が本来持っている

る特徴を最大限に活かす治療技術です。できるだけ多くの患者さんに、最も有効な治療が提供できるように、高精度放射線治療の開発と臨床応用に取り組んでいます。

放射線治療部門では、様々な医療スタッフがそれぞれの専門性を発揮して、一人一人の患者さんの治療にあたっています。職種間のコミュニケーションによる、高度なチーム医療の実践も当科の特色です。

放射線治療専門医、認定看護師、認定放射線技師、医療物理士などの綿密な連携を通して、安全かつ有効な放射線治療を実現しています。

移植医療センター



▲安藤恵子移植コーディネーター

▲日比泰造センター長

【写真】鹿児島大学の肝不全患者さんの住診を終えて

当院の小児外科・移植外科で行ってきた生体肝移植は2017年には通算500例に達し、九州南部唯一の脳死肝・小腸移植可能施設としても日本の指導的役割を果たしてきました。泌尿器科で行われてきた腎移植も合わせて、臓器移植に関わる業務を一元的に支援・調整すべく、2011年に移

植医療センターが発足しました。

日本移植学会が認定する移植コーディネーターが専任で常駐していることが特長で、院内外の連携はもとより患者さんおよび生体ドナー・ご家族の移植手術前後の心身両面の支援、生涯にわたるきめ細かなフォローアップ、脳死移植待機患者の手続き・脳死ドナー発生時の24時間対応が可能な体制を確立しております。移植医療の次世代の養成に加え、熊本県と協調し移植医療の教育啓蒙活動を行うことも本センターの使命です。

このほか当院で肝移植を受けた患者さん団体である「いちょうの会」を通し、患者さんやそのご家族同士の絆を深め、熊本・九州・日本の移植医療の持続的な発展に努めております。



がん医科・歯科連携

医科歯科連携事業が開始されました

国の「がん対策推進基本計画」に基づき、がん治療における医科歯科連携による口腔ケアの推進が求められ、「口腔ケアや歯科治療をがん治療の一環として取り入れる」医科歯科連携事業が開始されました。

この事業の目的は、口腔ケアをがん治療に導入することで、がん治療中の口腔内合併症を予防・軽減し、またがん患者さんが安心して歯科治療や口腔ケアを受け、口から自然な形でおいしく食事をとることができる、そのような医療体制を構築することにあります。また、がん治療前に歯科医院で専門的な口腔ケアや必要な治療を行うことでがん治療中のお口のトラブルはもちろん、肺炎の発症を減らし、がん治療成果そのものへの貢献も報告されています。



当院では、看護部と診療科(消化器外科・婦人科、乳腺外科など)が連携し、がん外科手術予定の患者を対象に、術前口腔ケアを目的として当院とがん患者医科歯科医療連携登録歯科医院と連携を行っています(図1)。

このように、手術前に地域の歯科医院と連携し、術後の口腔内トラブルや肺炎防止につな

げています。他にも心臓血管外科の手術前や血液内科の化学療法前なども治療後の合併症予防のために口腔ケアに取り組んでいます。また、緩和ケアとしても口腔ケアは推奨されています。

口腔ケアに関する医科歯科連携については、熊本県歯科医師会のホームページにも詳しく掲載されております。*

※熊本県歯科医師会HP

<http://www.kuma8020.com/information/>

図1 当院での歯科受診までの流れ



総合案内

- ① 受付時間 初診 8:30～11:00 / 再診 8:30 (再来受付機 8:15)～17:15 ※再診受付開始は、当日最初の診察・検査の予約時間の1時間前からです。
- ② 予約受付時間 8:30～17:15
- ③ 診療時間 8:30～17:15
- ④ 休診日 土曜、日曜、祝日、振替休日および年末年始 (12月29日～1月3日)
- ⑤ 診察日 ◎印(外来診療日参照)の日は初診も再診も行なっております。
- ⑥ 通常の診療以外に次の相談、検診を行なっております。
 - 禁煙外来 (呼吸器内科)
 - セカンドオピニオン (全診療科)
 - 乳がん検診 (乳腺・内分泌外科) ※現在休止中
 - 検査カフェ (中央検査部)
 - 脳ドック (脳神経外科)
 - 不妊相談 (産科)

外来診療日

※2018.11.01 現在

- 診療日一覧 (初診・再診＝◎、初診＝初、再診＝再、特殊再診＝特再、不妊外来＝不外、休診日＝休)
- 脳神経外科の初診は紹介状が必要です。
- 全診療科完全予約制です。再診受付開始は、当日最初の診察・検査の予約時間の1時間前からです。

		診療科名	月	火	水	木	金	
外来診療棟	1階	A 循環器内科	◎	◎	◎	◎	◎	
		心臓血管外科	休	◎	休	◎	休	
		総合診療科	◎	◎	◎	◎	◎	
	B	脳神経内科	初	◎	◎	◎	◎	
		整形外科	休	◎	休	◎	◎	
		脳神経外科	◎	休	◎	休	◎	
		麻酔科・緩和ケア	◎	休	◎	再	◎	
	C	小児外科・移植外科	◎	休	◎	◎	◎	
		小児科	◎	◎	◎	◎	◎	
	2階	D	糖尿病・代謝・内分泌内科	◎	◎	◎	◎	◎
			乳腺・内分泌外科	◎	◎	◎	◎	◎
			病理診断科	休	休	休	休	◎
E		血液内科	◎	再	◎	◎	◎	
		膠原病内科	◎	休	再	休	◎	
		腎臓内科	◎	◎	◎	◎	◎	
F		呼吸器内科	◎	◎	◎	休	◎	
		消化器内科	◎	再	◎	◎	◎	
		呼吸器外科	休	◎	休	◎	◎	
		消化器外科	◎	◎	◎	◎	◎	
G		皮膚科	◎	再	◎	◎	◎	
		形成・再建科	休	休	◎	◎	休	
3階	H 歯科口腔外科	◎	◎	◎	◎	◎		
	I 眼科	◎	◎	休	◎	特再		
	J 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	◎	休	◎	休	◎		
	K 婦人科	産科	◎	不外	◎	不外	◎	
		産科	◎	休	◎	再	◎	
	L 泌尿器科	休	◎	休	◎	◎		
4	M 神経精神科	休	◎	◎	◎	◎		
	放射線治療科	◎	◎	◎	◎	◎		
中央診療棟	B1階	放射線治療科	◎	◎	◎	◎	◎	
	2階	リハビリテーション科	休	◎	休	◎	◎	

熊本病院は高度医療を提供する「特定機能病院」として厚生労働省から認証を受けています。地域医療機関との分業を行なうため、原則としてかかりつけ医(他の医療機関)の紹介状が必要です。円滑な診療のために紹介状をご持参ください。紹介状がない場合でも受診できますが、初診の際に「保険外併用療養費(選定療養)」として5,400円(自費、平成27年3月現在)をご負担いただきます。

※予約について、お尋ねになりたい場合は、下記にご連絡ください。

外来予約センター TEL 096-373-5973

院内案内



病棟案内

【西病棟】	【東病棟】
耳鼻咽喉科・頭頸部外科、血液内科、膠原病内科	12F 院内学級、多目的室、患者図書室
血液内科、膠原病内科	11F 呼吸器内科、呼吸器外科、感染病床
泌尿器科、皮膚科、形成・再建科	10F 歯科口腔外科、泌尿器科
腎臓内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、画像診断・治療科	9F 眼科、糖尿病病床、脳神経内科
小児科、総合周産期母子医療センター (NICU、GCU)	8F 小児外科・移植外科、呼吸器外科、脳神経外科、小児科、緩和ケア病床
総合周産期母子医療センター(産科、MFICU)	7F 婦人科、乳腺・内分泌外科
ICU、血液浄化療法部	6F 心臓血管外科、HCU、循環器内科
脳神経外科、脳神経内科、SCU	5F 循環器内科、CCU
消化器外科、脳神経内科	4F 消化器外科
R I	3F 消化器内科
神経精神科	2F 整形外科、救急・総合診療部
栄養相談室、防災センター	1F 薬剤部、売店、美容室



交通案内

- 『熊本駅』からバスに乗り、『大学病院前』下車
JR熊本駅 所要時間 10分 → 熊本病院
- 『交通センター』からバスに乗り、『大学病院前』下車
交通センター 所要時間 10分 → 熊本病院
- 『阿蘇くまもと空港』からリムジンバスに乗り、『交通センター』下車
交通センター』からバスに乗り、『大学病院前』下車 所要時間 40分
- 九州自動車道 熊本インター出口
 国道57号線を熊本駅方面(産業道路)へ右折 所要時間 20分

熊本大学医学部附属病院

〒860-8556 熊本中央区本荘1丁目1番1号 TEL (096) 344-2111(代)
<http://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/> FAX (096) 373-5906